

ガウン・防護服の例示



サージカルガウン
(医療用)



アイソレーションガウン
(医療用)



防護服
(非医療用)

経済産業大臣・厚生労働大臣からの要請に関する報道

医療物資増産「協力を」



中西経団連会長（左奥）らに医療物資の増産を要請する梶山経産相（右奥）ら（7日、経済産業省で）

政府、経済界に要請

政府は7日、新型コロナウイルスの感染拡大で供給が滞っているマスクや人工呼吸器といった医療物資の不足解消に向け、経済界全体で増産に協力するよう改めて要請した。経済団体側は協力姿勢を示すが、規制や技術力など実現に向けた課題も多い。

梶山経産相は7日、経団連の中西宏明会長、経済同友会の板田謙悟代表幹事と会談し、「供給不足は今後も続く。世界で取り合っている」と述べ、現状ではマスクや感染防護服などが不足していると説明した。

梶山氏は、「（医療物資との）親和性の高いところのみならず、新規分野でも積極的にご協力を。述べ、製造機器の供給や技術者の派遣などへの協力を求めた。同席した加藤厚生労働相も「異業種にも力をお貸

したい」と述べた。中西氏は、「医療機器はそう簡単に（いかない）、免許の問題とかもある」としつつ、「国難なので全面的に努力したい」と感じた。医療物資のうち、マスク生産には家電大手シャープが参入するなど増産が進む。トヨタ自動車も7日、医療関係者が使う「フェースシールド」の生産を始めると発表した。自動車部品の試作品を製造するための3Dプリンターを活用する。また、デンソーやトヨタ紡織などグループ企業の工場で、マスクの生産にも取り組む。一方で、防護服など人手不足で製造が進まない製品もある。また、重篤な肺炎患者に必要な人工呼吸器は、国内メーカーが数社と少ないうえ専門性が高く、新規参入にはめどが立っていないという。

(2020年4月8日 読売新聞)